

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義演習		
科 目 名	理学療法治療学 I-B②(ウィメンズヘルス)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)			
対 象 学 年	夜間部4年	学期及び曜時限	前期	教室名	703教室					
担 当 教 員	沢田 咲実									
実務経験とその関連資格	理学療法士として整形外科と内科中心の急性期病院にて5年間勤務後、マタニティケアサロンや助産院で、自費診療にて産前産後女性の身体ケアに従事。(約8年間で、600症例以上を担当) その他、保健センターや子育て支援センターの母親教室に年6回～8回介入。 また、2017年より助産師向け講座にて骨盤基礎解剖学講座等を担当している。 2022年12月～産婦人科病院にて非常勤勤務。 関連資格:月経血コントロールヨガインストラクター、Pifirates(ピフィラテス)インストラクター、骨盤ケアリスト、バースセラピスト									
《授業科目における学習内容》										
講義や基本的な実技にて、ウィメンズヘルス分野の基礎的な知識を得る。 グループワーク・症例検討にて、ウィメンズヘルス分野への関心を高める。										
《成績評価の方法と基準》										
定期試験:70% 小テスト:30%										
《使用教材(教科書)及び参考図書》										
事前に準備する教科書はありません。授業当日に資料を配布します。 参考図書 「ウィメンズヘルスと理学療法」(三輪書店)、「ウィメンズヘルスリハビリテーション」(メジカルビュー社)										
《授業外における学習方法》										
配布資料や参考図書をもとに、授業で行った内容の復習をして下さい。										
《履修に当たっての留意点》										
<ul style="list-style-type: none"> ・実技やグループワークは、積極的に取り組んでください。 ・疑問点などは、授業時間内に質問し解決するよう行動してください。 										
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容					
第1回	授業を通じての到達目標	ウィメンズヘルス分野に関連する基礎知識を理解する。			配布資料 パソコン・プロジェクター	特になし				
	各コマにおける授業予定	女性の生涯起こりうる変化と機能障害について、対応できる理学療法について。 骨盤周囲の基礎解剖について。								
第2回	授業を通じての到達目標	月経周期について、また妊娠出産における身体的変化・起こりうる異常を理解する。			配布資料 パソコン・プロジェクター	特になし				
	各コマにおける授業予定	月経周期とその異常について。 妊娠出産時の身体的変化、それに伴い起こりうる機能障害について。								
第3回	授業を通じての到達目標	骨盤底筋群の解剖学と骨盤底機能障害、排尿排便トラブルを理解する。			配布資料 パソコン・プロジェクター	特になし				
	各コマにおける授業予定	骨盤底筋群の基礎解剖、骨盤底機能障害について。 排尿・排便のメカニズムと尿失禁のタイプ・それぞれのタイプに対する対処法について。								
第4回	授業を通じての到達目標	骨盤機能障害・腹部機能障害に対するの評価を実施できる。			配布資料 パソコン・プロジェクター 動きやすい服装	小テストを実施するため、第1回・第2回・第3回の配布資料を復習しておいてください				
	各コマにおける授業予定	前回までの内容の小テスト 骨盤機能障害・腹部機能障害とその原因について。 実際の評価方法の経験(骨盤のランドマーク触診・骨盤底筋群の触診・腹部機能の評価)								
第5回	授業を通じての到達目標	骨盤機能障害・腹部機能障害における理学療法を実施できる。			配布資料 動きやすい服装	特になし				
	各コマにおける授業予定	妊娠出産時に起こりうる運動器症状に対する評価と対応方法を体験する。 (骨盤底筋群エクササイズ・インナーユニットエクササイズなど)								

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	育児動作について知り、分析できるようになる。 産前産後のメンタル変化について理解する。	配布資料 動きやすい服装	小テストを実施するため、第4回・第5回の配布資料を復習しておいてください
	各コマにおける授業予定	前回までの内容の小テスト 抱っこ動作・抱っこ紐装着・授乳姿勢などの育児動作で起こりうるトラブルの分析・仮説の立て方を経験する。 産前産後のメンタルの変化とその対応について。		
第7回	授業を通じての到達目標	更年期障害について理解する。ウィメンズヘルス領域の症例に対する実際の評価の組み立てから対応方法までを経験し、理解する。	配布資料 動きやすい服装	特になし
	各コマにおける授業予定	更年期の身体変化と更年期障害について。 症例検討を通して、評価から対応方法までを模擬体験する。		
第8回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			